

◇自由投稿コーナー◇

# みんなの広場

## 県広報コンクール2年連続 特別賞を受賞

八條中学校PTA広報委員会

私たち八條中学校PTA広報委員会は、9名で学校の行事やPTA活動などを取材し、学期ごとに年3回「NET WORK」という広報紙づくりを行っています。

連続特別賞（埼玉県PTA連合会会長賞、埼玉県教育委員会教育長賞）を受賞し全国へ推薦されました。さらに平成22年度は、全国広報紙コンクールにおいて、応募総数1849校の中から佳作に選ばれました。

広報委員に選ばれて、大変そうだなと思いましたが、どうせやるなら、「捨てるれない広報紙を作ろうよ」とみんなで目標を決めて、広報紙づくりに取り掛かりました。普段、みんなで地道に取材活動をし、学期ごとの発行が近づくとき、寄った記事で編集作業に入ります。紙面のレイアウトをどうしたらよいかなど検討するのですが、みんな息が合っていて、和気あいあいと毎回楽しく編集作業を行っています。

平成21年度と22年度、埼玉県PTA連合会広報紙コンクールにおいて、2年連続



八條中学校仲魯哲哉PTA会長からは、「向上心をもって取り組んでくれた結果で、大変素晴らしいことだと思います。これからますますPTA活動を盛り上げていきたいと思えます。」と喜びの声をいただきました。紙面づくりを進める中、学校の様子がよくわかり、何より、広報紙を配布した瞬間、子どもたちの顔を見るのが楽しみで、私たちはやりがいを感じています。これからも、PTAの雰囲気子どもや保護者に楽しく、より詳細に伝えていきたいと思えます。

# みんなで力を合わせて

## 東北地方太平洋沖地震



支援物資を被災地へ搬送

### 支援物資を輸送

3月16日、東北地方太平洋沖地震で被災された方々への救援物資の第一陣として、被災地で不足している食料品、粉ミルク、灯油など近隣市の協力を得て、三陸地方の物資収集・搬送の拠点である岩手県遠野市に、市民ボランティアによりトラック2台で輸送しました。

さらに18日には、米、防寒服などを救援物資として輸送しました。

### 被災者の一時受け入れ

3月17日、被災者から本市へ避難所の問い合わせがあり、茨城県北茨城市の1家族3人を文化スポーツセンターに受け入れました。

また、19日には福島県浪江町、双葉町の4家族14人を受け入れ、3月30日現在、3家族9人の方々が文化スポーツセンターに避難されており、市民ボランティアの方々が食事のお世話などを行っています。

これからも避難する場所がない方々を優先的に受け入れていく予定です。ただし、受入施設に限りがあるため、電話による事前受付とします（開設期間4月30日まで）。

### 市内に避難されている方へ

東北地方太平洋沖地震、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い市内に避難されている方、また、避難者を受け入れているご家庭がありましたら、現地対策本部との安否確認などのため、下記の内容についてご連絡ください。

避難者全員の（1）氏名、（2）八潮市内の住所および被災先住所、（3）生年月日、（4）緊急連絡先など

### 救援物資の受け付け

3月18日から25日まで、市民の皆さんに粉ミルクや紙おむつ、生理用品、防寒着などの衣類の提供を呼びかけ、市民ボランティアの協力のもと、文化スポーツセンターで救援物資の受け付けを行いました。

提供された救援物資は、埼玉県を通じて、岩手県や宮城県、福島県などの被災者の手に届けられています。ご協力ありがとうございました。

市では、今後も関係機関と連携を図りながら、被災地の意向を尊重し、状況に応じた支援に努めていきます。

☎交通防災課東北地方太平洋沖地震緊急対策担当 ☎351



ボランティアによる救援物資の受け付け